

令和3年賀詞交換会 学長挨拶

おはようございます。

教職員の皆さんには年の初めのお忙しいところ、賀詞交換会にご参加いただきありがとうございます。

まず、挨拶の前に今回の賀詞交換会について補足させていただきます。

この賀詞交換会は例年、一定の役職者以上が集まって新年の顔合わせを行うものですが、今回は新型コロナウイルス対策としてZoomでの開催といたしました。せっかくの機会なので対象者を全教職員に広げ、埼玉大学を支える全員で、新年の顔合わせを行う場とさせていただきました。

皆さんの顔を拝見しながらお話ししたいと思いますので、可能な方は、是非、カメラをオンにして頂きたいと思います。

改めまして、2021年が明けました。

まず、昨年を振り返ってみますと、やはり新型コロナウイルス感染拡大の影響を挙げざるを得ません。

大学としても、非常事態宣言及び非常事態措置による学生の入構禁止と授業の後ろ倒し、遠隔授業に関する試行錯誤、コロナ禍における学生支援方法の模索など、平常時には起こり得なかった対応業務がたくさんありました。多くの児童生徒を預かる附属学校園でも同様に、突然の臨時休業要請、分散登校の実施など、様々なご対応をいただきました。

教職員の皆さんには、今まで経験したことのない、このコロナ禍の状況の中で、新しい業務をいくつも進めていかなければならないこととなり、かなりのご苦勞・ご負担をお掛けいたしました。

こうした大変な令和2年を何とか乗り越え、大学として大きな混乱を起こさずに無事に新年を迎えることが出来たのも、ひとえに教職員お一人お一人のご尽力のお陰です。この場を借りて、全ての教職員へお礼を申し上げたいと存じます。ありがとうございました。

埼玉大学は予算規模・学生数・教職員数などの点で、比較的コンパクトな大学です。だからこそ教職員一人一人の頑張りが大学全体に大きく影響する大学でもあります。

執行部としては、現場の声をお聞きし、大学運営に反映させ、埼玉大学のさらなる活性化を目指していきたいと考えています。

ここで、教職員の皆さんに2点ほどお願いがあります。

まず、今年は、次の6年にかかる第4期中期目標計画を策定する年でもあります。

これから策定作業の本格化に伴い、様々なお願いをすることになります。どうぞ、大学運営への積極的なご協力を是非お願いいたします。

2点目は入試です。10日後には大学入学共通テスト、そして来月、再来月には個別試験が待ち受けております。今年はコロナ禍ということもあり、大学全体で例年に増して緊張感のある時期が続きます。

入試業務は、大学にとっていわばエッセンシャルワークともいうべきものです。受験生のためにも、運営を担当する教職員のためにも、感染症対策を最大限行いつつ、入試を実施したいと思っております。こちらへのご協力もぜひよろしくお願いいたします。

新型コロナ感染症が蔓延し始めた1年前と比べると、ウイルスの特性も大分明らかになり、対処法や治療法、さらにはワクチン開発も進んできました。

歴史を振り返ってみても、人類は感染症の脅威に何度もさらされながら、科学的な知見を積み重ね、それに打ち勝ってきています。

もちろん、感染者数の増加や、本学においても学生の感染者が出ていること、首都圏への緊急事態宣言の発出が確実な状況を見ると、しばらくは厳しい時期が続くものと考えなければなりません。我々は今以上に気を引き締めて感染防止を心がける必要があります。

しかし、この状況が好転し、新型コロナ感染症が脅威でなくなる時は必ずやってまいります。それまでは体調に気を配りつつ、希望を持って、役員・教職員で一丸となり、この難局を乗り越えていきましょう。

最後になりましたが、皆さんと皆さんのご家族にとって、今年が充実した一年となることを祈念して、挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2021年1月6日
埼玉大学長 坂井貴文